

ライフプラン
アドバイザーの井戸端会議

家計を
見直す

アイデア

子どもの 教育費の話

新生活をスタートされた方もそろそろ新しい環境に慣れてくる頃でしょうか？

ピカピカランドセルの小さな子どもたちの元気な声を聞くと♡フアイト♡と応援したくなります。うちもこんな頃があったなあと思わしく思い出されます。

さて今回は子どもの教育費のお話ですが、私自身子どもが生まれて親のすずめで学資保険に入り、貯金は家計費が残ったら貯めれば良いかなという程度でした。

もつとしっかり教育費の事を考えていれば……と私みたいに後悔しないために3つのポイントをお話します。

1 おおまかなプランを話し合みましょう。

『子どもが生まれたらまず教育資金の計画と準備をしましょう』と言われるますが、資金計画や教育方針などむづかしく考えず、この子の将来をどのようか考えているかを夫婦で話し合うだけでも充分です。また子どもが大きくなったら一緒に話し合ってから決めていくのがいいですね。あとから『ほんとは違う学校にいきたかった…』なんて言われたら親としてショックですものね。

2 教育費の『かかる費用』『かける費用』を 考えましょう。

『かかる費用』とは学校の教材、給食費、制服代など必要なお金です。

『かける費用』は習い事、塾、スポーツクラブなど親や子どもの希望、自分たちの意思によって決める

ことができる費用です。子どもの可能性を広げてあげたいけど、お金はかかる…という悩ましい現実があります。

文部科学省(子どもの学習費調査)H22年度によると

公立 小学生

教育費1人あたり 年間約30万円
そのうち学校外活動費 約21万円

(スポーツ、習い事、塾など)

公立 中学生

教育費1人あたり 年間約46万円
そのうち学校外活動費 約30万円

(約30万円のうち学習塾費約18万円)

『義務教育の今がタメどき』です。学校外の『かける費用』をよく考えて、将来の家計も見通して決めることは大切です。

3 18才までと18才からの教育費は わけて考えましょう

高校までは家計費でまかない、大学や短大、専門学校は家計費ではまかないきれないので、積み立てた貯蓄などをあてます。さらに足りない場合は奨学金、教育ローンなど打つ手があります。

うちの場合、姉弟2才違いの大学生がおりまして『家計が火の車』状態が7年続きました。大学の授業料は子どもにお金を渡して自分で大学に納付させました。『こんなにお金がかかっているのよ』と私なりの小さな抵抗のつもりでした。子どもも親の懐具合をわかってきていたのでしょう、バイトして苦しい生活をしながら我慢してくれていたようです。

もつと早く教育ローンが完済します。ほっとするのにも束の間…うちにはもう1人中学生がいました(泣) 計画的な家庭ではなさそうです。

LPA 竹中 恵子

キレイのエッセンス

鮮やかな新緑の間を爽やかな風が吹き抜ける5月。一年のなかでも過ごしやすく、気持ちの良いシーズンの到来です。その一方、頬はカサついているのにおでこはベタつく、ゴワついてメイクのりが悪いなど、肌の状態は「絶好調」とはいかないようです。これは、季節の変化による肌の不調かも。こんなときのスキンケアは、基本に立ち返ることが大切。スキンケアの第一歩、洗顔を見直してみましょう。

Q 洗顔の正しい方法を教えてください！

A 洗顔で一番気をつけなければならないのが肌をこすらないこと。たっぷりの泡を肌の上で転がすだけで汚れを吸着してくれるので、ゴシゴシこする必要はありません。すすぎのお湯は手で触ったときにちょっとぬるいかな、と感じるくらいが理想的です。

(株)クラブコスメチックス 小山怜美



まずは
①皮脂の多いTゾーンから洗います。
次に
②頬やお口周り、最後に目の周りをやさしく洗います。

おすすめ商品

コープ フェイスソープ
(内容量 120g 定価650円)

